



2004 ~ 2005 年度
R I テーマ

CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう

国際ロータリー会長 グレン E. エステス・シニア (国籍・アメリカアラバマ州)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	梅津ヤヨイ	役員	会長	森 宗明	S A A	梅津ヤヨイ
"	溝部 仁	"	木村きぬ系		副会長	後藤健介		
"	村津忠久	"	大島由美子		幹事	上妻 浩		
"	平野英壽				会計	岩尾昭治		

VOL . 17 - 17
2004 年 11 月 2 日

第 751 回 例会

会報委員長 近藤 賢司

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

国 歌 君が代

R . S . 奉仕の理想

唱 歌 旅愁

B . G . M 「オーケストラで綴る
日本の愛唱歌」より
埴生の宿
故郷を離るる歌
荒城の月 他

ゲ ス ト 張 敏君 (米山奨学生)

出席報告

委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	20 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	1 名
	出 席 率	80 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	88 %
	事後メイクアップ	3 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
	10/19 修 正 出 席 率	100 %
連 続		6 回
通 算		683 回 100 %

・メイクアップ

事前 小川、土谷 (日出)
岩尾、花田 (別府)

事後 大島 (大分1985) 後藤(孝) (別府)
津末 (別府北)

欠席 後藤(健)

幹事報告

幹事 上妻 浩

- ロータリー財団月間 -

...今週は「世界インターアクト週間」

(11月5日を含む1週間)となっております。...

1. 本日の卓話

『ロータリー財団月間に因んで』
平野英壽ロータリー財団委員長

会長の時間

会長 森 宗明

本日は平野会員の卓話、楽しみにしてきました。
ロータリーに入会して早いもので、すでに12
年が経過しました。先輩諸氏の経営理念、日常の
会話、等々、本当に私はそれらを自身の生きてい
く指針としてまいりました。今日大変なご時世、
特に事業者にとってかつてない厳しい情勢が長く
続いています。今後も荒れ狂う大海を乗り切る為
の羅針盤として、ロータリーの理念を活かして行
きたいと思っています。更なるご指導をお願いす
るしだいです。



2. 本日のゲスト
張^{テョー} 敏^{ミン}君 (米山奨学生)
3. 委員会報告
・社会奉仕委員会
4. R I 第2720地区工藤寛昭ガバナーより村津忠久会員に、2004 - 2005年度 R I 第2720地区「地区大会」選挙管理委員会委員としての委嘱状が届いておりますのでお渡し致します。
5. 10月の例会にて「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金の募金箱を回覧しておりましたが、益金4,038円となりました。ご協力ありがとうございました。
6. お祝い
会員誕生日 河村 貴雄会員(11月2日)
7. 例会変更のお知らせ
玖珠RC 11月4日(木)の例会は、大分1985RCと合同家族例会及びロータリーの森整備事業の為 11月3日(水)10:00~九重町九酔溪「ロータリーの森」に日時・場所変更
宇佐RC 11月4日(木)の例会は、利根川進博士講演会の為11月5日(金)13:20~宇佐文化会館「ウサノピア」大ホールに日時・場所変更
大分東RC 11月4日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~豊の国健康ランドに場所変更
大分1985RC 11月8日(月)の例会は、玖珠RCと合同家族例会の為11月3日(水)10:00~九重町九酔溪「ロータリーの森」に日時・場所変更
杵築RC 11月11日(木)の例会は、職場訪問例会の為 同日12:30 - 国東重販(株)に場所変更
8. 本日例会終了後、13:40~「第5回定例理事・役員会」を開催致します。
9. 次週の予定
「アメリカ大統領選を考えて」溝部 仁会員
10. 本日の回覧
宇佐ロータリークラブ主催
「新世代へのメッセージ講演会」
開催のご案内

11. 本日の配布
ロータリーの友11月号
週報750号
「感動のサービス」
(R情報委員長:鳴海淳郎)

スマイルボックス 委員長 葉真寺章三

- 森会長
平野会員の卓話にはさすがに人が集まります。毎週やりませんか?
上妻会員
先週は取締役会と重なり欠席してすみませんでした。二回分スマイルします。
平野会員
今日、みなさん、おつかれさんです。午後のひととき、遠慮せず、気遣わず、ごゆっくり、うたたね下さい。
村津会員
10月31日・日曜日に予定されていた「もみじ谷の奉仕作業」は雨天の為中止となりました。詳細は委員会報告の通りです。
今日は、平野会員のユニークな卓話を楽しみにスマイル。
吉富会員
来週の卓話は私の予定でしたが、県協会の予定が入り、延期させていただきます。
本日、平野社長の卓話、勉強させていただきます。
木村会員
本日の卓話の平野さん、たのしみにしています。がんばって!!
溝部会員
先週出張で名古屋に行きました。帰りに大阪に寄り、娘二人と娘の主人と梅田で夕食をしました。何か不思議な気分でした。
河村会員
先週、ロータリー地区史の編集委員として熊本の本会議に参加しました。私は、過去10年間のバストガバナーのプロフィールの担当になりました。発行は来年の8月予定です。是非、楽しみにして下さい。
衛藤会員
寄る年波は争えず、この所、体調をくずして御無沙汰致しました。でも、今日皆さまにお会い出来て元気を取り戻しました。感謝してスマイル。

津未会員

先月10月30日にトリニータの試合を大島さんと見に行きました。二人で大声を出し、青春をしました。試合前に役員会有り、女性で3人目の役員に選ばれました。がんばります。宜しく。

小川会員

旅館組合の会合とかさなり、欠席致します。申し訳ございません。

葉真寺会員

今日は、近藤さんより4階の男子社員へのおほめの言葉を頂きました。クレームや厳しいご意見が多い中、従業員を上げます意味で大変ありがとうございます。この場をかりてスマイルいたします。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 村津 忠久

一昨日、10月31日(日曜日) 予定では、陸上自衛隊曹友会37名、コーラスグループ5名、クラブ会員・関係者11名、計53名が参加して「もみじ谷・秋の奉仕作業」を実施する事になっていましたが、雨天の為中止致しました。

来年3月の植樹の為の必須作業は、作業員の方々に、代替して実行して頂きます。

来年3月末(3月27日の予定)の植樹の際は、また、よろしくお願い申し上げます。

卓話

ロータリー財団月間に因んで

平野 英壽



本月11月はロータリー財団月間ですので「人間の寄付行為」と言うことについて、お話をさせていただきます。

みなさん、ただ「寄付して下さい」「ご協力下さい」と言われたところで、「はい、はい」と言う方が何人いるでしょうか?一概に、寄付を...

と言われたところで、いったい何が寄付なのか?寄付したものがどうなっているのか?どういう流れで現地へ行っているのか?と疑問が多々あって、なかなか寄付に踏み込めない方や実際困ったことが無く関心の無い方や、「自分が寄付してもらいたいくらいだ」と冗談で軽く流しているのではないのでしょうか?軽く流すという事は軽く考えているのです。

そこで「人間の寄付行為」について内面的・精神的感知から私の好きな書物から抜粋しながらお話してみたいと思います。実話もともなって話をさせていただきます。

人は「得を求め、損を排除」して生きていますか!この損・得ということについてお話しします。

まず、はじめに、明らかにしておきたいのは、この宇宙におけるあらゆる存在はふたつの相対する性質によって同時出現しているということです。どういうことかと言いますと、プラスとマイナス。といって東洋的には「陽」「陰」ということを皆さんも耳にしたことがありませんか。

- 例えば、・健康があって病気がある。
- ・成功があって失敗。
- ・金持ちがいて貧乏人がいる。
- ・夜・昼
- ・男・女
- ・おいしい・まずい

我々にとって利益のあることと無いことと全部含めて二種類の性質があり反対の極があるがゆえに、そのものは存在するのです。つまり、闇があるゆえに光はあるのであり、闇がなければ光もなくなるのです。

例えば、皆さんが今ここに生まれたときから真っ暗闇の世界に住んでいて、光をみたことのない人だと考えてみましょう。皆さんは実は光をしらないばかりではなく、闇も知らないのです。なぜなら、闇と対照である光を比較分別したことがないからです。自分のいる世界が闇というものであるという認識が生じえないからです。

「得」と「損」も二つの性質であり、「得」の存在するところに「損」があり、損が存在するところに得があるのです。

ところで私たちは日常でこの損・得のパワー法則をあまり考えていないように思います。

皆さんも経験があり私も経験がありますが物事がうまくいって得が増大するにしたがい、その背後には損が蓄積されていき、言い換えれば、得を求める力の強さは、それに誘発される損の強さに正比例すると感じませんか。誰でも知っている、タライの水を向こうに押しやれば、水は壁にぶつかり、こちらへ押しかえされるというものです。

ここで損と得を人間の意識の二面性におきかえて

考えてみました。みなさん今から言うことを想像してみてください。

例えばあなたが広大な砂漠のなかにおいて、水を少ししか持っていないという状況を思いうかべてください。このとき、あなたの水を人にあげてしまうという行為はあなたの何を意味すると思いますか。あなたはあなた自身の死を想像しませんでしたか？そしてあなたはこうして無意識のうちに「これを人にやることによって自分の命が短くなるかもしれない」ということがわかっています。つまりこの水を人にやれば、死ぬかもしれないという意識が無意識のうちに働いているのです。しかしここで人に与えることによって不思議なことがおこるのです。それは生きる力です。内にむかって死ぬかもしれないという意識を送ることによって生きる力が湧き出るので。

反対に、得を求める意識、言い換えれば、外に向かって生きんとする意識をどんどん発揮していくと、死なんとする力、損をする力がでてくるのです。

私たちは得しよう得しようとして、タライの水を向こうに押ししていると、つまり損をする力が返ってくるのです。その人が良い事をする、悪いことをするということには関係がないのです。勢いが良くてうまくいっている、それに逆比例して身を滅ぼす力というものが増えてくるのです。それは人間の運命にも現れるものだと思います。

「好事魔多し」という言葉があります。これは人間、物事がうまくいって、仕事が好調の波にのっているときに限って、突然、思いもよらなかった災難がおとずれる、という意味です。

とにかく人生、順風満帆のときには、得のパワーがたまっていくに従い、損のパワーが、あたかも山奥の谷川に自然にせきとめられてできたダムのように、驚異的な破壊力を秘めた水のかたまりとなって増大しつつあるのです。そしてある日、突然そのダムは決壊しその人に大きな災難や苦しみを、もたらすのです。

これに似た話で「帰り矢現象」というものがあります。帰り矢とは、天空の中心に向かって矢を射れば、やがてはリターンして、自分の身にふりかかってくる、というものです。この社会で一生懸命、会社のために働いた人がある日バタリとクモ膜下出血や心筋梗塞だったり即死したりし、人々はそれを「過労死」と呼びますがそれは単なる肉体的な疲れだけではなく、実に運命的な災厄（さいやく）が襲いかかってきたことを意味しているのです。

このように、その人の体に弱い部分があれば、帰り矢はそこを襲います。しかし、私みたいにその人が健康そのものであり、弱い部分がなければ、その人の奥さんの方を襲うかもしれないのです。旦那さんは出世街道を突っ走っているのに、奥さんは病弱、あるいは精神的病気になる、といった場合を見かけませんか？

しかしこれも妙な話があります。ここにいる皆さんだけに背中がゾクゾクするお話をお教えます。

旦那さんが、もう奥さんを愛していないと、奥さ

んは安全になるのです。そのかわり、旦那さんの愛人のほうがやられたりします。これはどう言うことかと、言いますと、旦那さんの愛するものを失わせ、苦しみを彼に味あわせようとするからです。奥さんも守り、愛人も守り、自分も守りたい、平和主義な私はこの帰り矢から逃れる方法を考えました。

石油の採掘や炭鉱などではガス抜きということを行うのをご存知でしょうか？それは、穴の中にたまったガスを時々ぬいてやることです。こうしないと、大爆発が起きてしまうからです。帰り矢を逃れるのも、このガス抜きと似ていると思うのです。大きくたまった得からほんの少し得を抜きとり、つまり、小さな損をするのです。

また、例えばダムの岸壁（がんぺき）の一部に小さな穴をあけて、そこを逃げ水の出口とするのです。こうすることによって、ダムはあふれないですむのです。

「帰り矢」に対して「散銭」という言葉があります。言葉どおり「お金を散らすこと」です。つまり意識して損をするのです。この目的は「損をしたという意識を自分に与えること」なのです。

例えばすし屋などで勘定のときに、「つりは取っておいてください」などということは散銭にならないのです。なぜなら、このとき彼の気前の良さは、彼自身の自己重要感を満足させたからです。つまり彼はすでに喜びの報酬を得てしまっているから散銭ではないのです。散銭になる場合は、まずプレゼントです。それは好きな人に対する好意の表れでありまた、世話になったひとへの感謝の表現です。寄付や布施などは効力高い散銭で古来より三文の徳といった「功德（くどく）ある行為」として知られているそうです。

いずれにせよ、大損をする前に、ちょっと小さな損をしておまおうということが大切で、頭は冷静さを取り戻せるのです。寄付や布施などという行為は目に見えない得の積み上げだと思うのです。

寄付をするという行為がもつたいないと感じながら小さな損をつくりだし、得と損のバランスを調整できるのがこのロータリークラブの活動の中だと強く思います。スマイルボックス、ロータリー財団、米山奨学金を通して私は最愛の妻、最愛の愛人、最愛の自分をこのロータリーで守ってもらいます。（笑）こうして帰り矢から逃げてみせます。

皆さんもロータリーの活動を通して帰り矢現象から逃げてください。ロータリー歴16年にしてロータリークラブは私の命の恩人の場、だということに気づかされ、小さな損をする喜びを知り生きがいを感じています。皆さんもどうか、どしどし今年提唱している五百円玉募金箱にお金を入れてポール・ハリス・フェローを目指してください。

